

トップページ

# CUD学習ツール

1部：文字の強調  
[ [1.配色](#) → 2.文字フォント → 3.装飾 ]

2部：色の組み合わせ  
[ [1.色相](#) → [2.明度](#) → [3.彩度](#) ]

3部：グラフ  
[ [1.配色](#) → 2.色以外での区別 → 3.項目名の書き方 ]

[トップページに戻る](#)

1部：文字の強調[ [1.配色](#) → 2.文字フォント → 3.装飾 ]

## 1.配色

CUDに配慮し、文字の強調に使用する色を選択してください。

☒赤 ☐橙 ☐黄緑 ☐緑 ☐空色 ☐青

文字を**強調**します

評価

- ①選択肢から色を選択  
②評価ボタンを押す

色を再選択

色を再選択

評価

選択した色：空色

<別色覚での見え方>

通常：文字を**強調**します

P型：文字を**強調**します

D型：文字を**強調**します

T型：文字を**強調**します

選択した色は、どの色覚でも黒との区別がつきやすいため、文字の強調に適しています。

ポイント：色覚異常では赤・青・緑のいずれかが感じづらくなるため、それらの色は色が近い別の色で代用しましょう。例えば、赤色を使いたい場合は、赤そのものではなく朱色や橙色等を使用しましょう。

[次の項目へ](#)

評価

選択した色：赤

<別色覚での見え方>

通常：文字を**強調**します

P型：文字を**強調**します

D型：文字を**強調**します

T型：文字を**強調**します

選択した色は一部の色覚では黒との区別がつきづらい色に見えるため、文字の強調には適しません。

ポイント：色覚異常では赤・青・緑のいずれかが感じづらくなるため、それらの色は色が近い別の色で代用しましょう。例えば、赤色を使いたい場合は、赤そのものではなく朱色や橙色等を使用しましょう。

別の選択肢を選んでください。

- ⑤適する選択を全て試した場合  
次の項目へと進める

[トップページに戻る](#)

1部：文字の強調[ [1.配色](#) → 2.文字フォント → 3.装飾 ]

## 2.文字フォント

文全体の文字フォントを選択してください。

※一般に、明朝体はうろこがあり、細い線と太い線が合わさったフォントになっています。  
対して、ゴシック体はうろこがなく、線の幅が一定なフォントになっています。

☒明朝体 ☐ゴシック体

文字を**強調**します

評価